ふるさとの風土に学び
人がきらめき　人がつながる
おびひろの教育

令和８年度　教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和７年度対象）

令和８年 11 月 17 日
経済文教委員会提出資料

【概要版】

点検・評価の基本的な考え方

趣旨
○目的　効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たす
○根拠　地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条
○取扱　報告書を議会に提出・市民公表

対象
○令和７年度に実施した取り組み

方法
○帯広市教育基本計画の「個別施策」ごとに実施
○取り組みの成果と、課題・今後の方向性の２つの観点から点検・評価

学識経験者の知見の活用
○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けて活用を図る

点検・評価の結果

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成

－　１　ふるさと教育の推進　－

成果指標の状況								
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（%）							
区分	基準値【H27～R1 平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R11）	
小学校	44.7	48.8	49.6	73.1	81.1	79.8	60.0 以上	
中学校	39.1	41.1	42.9	65.9	76.8	75.3	55.0 以上	



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○「おびひろ市民学」を通して、地域社会の一員としての意識を高めるとともに小中義務教育学校９年間の学びがつながるようなカリキュラムを充実 ○「おびひろ市民学」の充実を進め、新たに１講座を開設 ○各種教育施設において、展示や各講座、スポーツ体験等を通した学びの機会を提供	○郷土への愛着や誇りを育むため、「おびひろ市民学」による学びを継続するほか、新規講座（プログラム）の開発を進める ○地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する
食を通じたふるさと理解の促進	○「ふるさとの日」や「学校給食週間」等における、地場産食材を活用した給食の提供を通じ、地域の食や産業への理解を促進 ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」の実施により、食を通じたふるさと理解を促進	○地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通じた地域の食や産業への理解促進に継続して取り組む ○「帯広らしい食育プログラム」において、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進める
地域社会に参画する意識の醸成	○体験活動やリーダー研修を通して、地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーを養成 ○防災・減災に対する意識の向上を図るため、地域における自主防災活動への参加や活動の活性化につながる親子防災講座を実施	○各団体等と連携し、リーダー研修等の青年リーダー養成事業の充実を図る ○親子防災講座を通じ、ボランティアや防災活動への参画意識向上を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育を進める
環境教育の推進	○環境破壊や自然災害について、実社会との結びつきを意識した教育を実施 ○児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供	○子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設ける ○帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を設ける

－　２　職業観の育成　－

成果指標の状況								
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（%）							
区分	基準値【H27～R1 平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R11）	
小学校	93.6	95.6	93.8	93.8	94.9	96.1	100.0	
中学校	94.6	95.5	96.9	95.5	96.7	96.1	100.0	



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校におけるキャリア教育の推進	○地元企業等と連携した授業により、多様な職業の理解促進と地域社会の一員としての意識を醸成 ○一人一台端末を活用したオンライン工場見学やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施	○キャリアパスポートを活用した系統的な学びの充実により、社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上を図る ○キャリア教育の好事例について情報を共有し、学校間の連携を進める
職業体験機会の充実	○32 種の職業体験ができる「おびひろキッズタウン」を実施 ○各社会教育施設で職場体験やインターンシップを実施	○企業等との連携した職業体験機会の提供や、各種社会教育施設でのインターンシップ受け入れ等の取り組みを継続する

－　３　情報教育の推進　－

成果指標の状況								
指標名	授業でコンピュータなどの ICT を活用したいと思う子どもの割合（%）							
区分	基準値【R1】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R11）	
小学校	87.4	—	—	86.0	85.0	85.0	90.0 以上	
中学校	73.8	—	—	78.0	77.0	78.0	80.0 以上	



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
情報活用能力の育成	○一人一台端末等 ICT を活用した学習活動を通じて、主体的な情報収集・整理・分析・発信・伝達する力を育成 ○および GIGA 支援員による校内研修や「GIGA サポ」により、ICT を活用した指導力を育成	○一人一台端末の日常的な活用の充実に取り組むほか、地元企業等と連携した ICT を活用した教育を進める
情報モラルの育成	○著作権やプライバシーの保護等情報モラルを育む教育課程を編成したほか、インターネットの安全利用に関する啓発活動などを実施	○関係機関や事業者、家庭と連携し、インターネットの安全利用に関する啓発活動に継続して取り組む
プログラミング教育の推進	○発達段階に応じたプログラム体験の実施等により、プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力を育成	○中学技術科において導入したプログラミングを効果的に活用し、論理的思考や問題解決能力、創造的に情報を活用する力を育成

－　４　国際理解教育の推進　－

成果指標の状況								
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合（%）							
区分	基準値【H29～R1 平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R11）	
小学校	66.3	—	—	75.0	75.0	72.0	75.0 以上	
中学校	64.4	—	—	70.0	69.0	68.0	75.0 以上	



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○各学年段階のつながりを意識した系統的な外国語指導を実施 ○外国語指導講師（ALT）研修の実施による指導力の育成 ○長期休業期間中のサポート学習や国際交流員等を活用した体験的なコミュニケーション活動により、児童生徒が外国語に触れる機会を充実	○小学校における外国語専科教員の配置や ALT を活用した授業に取り組む ○ALT との触れ合いを通じ、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○ALT や市の国際交流員との交流、JICA 北海道（帯広）の授業等を通し、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供	○地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進める

－　５　南商業高等学校における教育の推進　－

成果指標の状況								
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（%）							
区分	基準値【R1】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R11）	
—	26.7	16.6	17.6	33.3	31.1	30.4	50.0 以上	



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
商業教育の充実	○実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習に取り組み、卒業までに全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合６５．５%（道内１位）を達成 ○姉妹都市マディソン市への留学生派遣を実施し４名の生徒が参加	○実践力を高める指導を進めるほか、多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む ○国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携し、安全に交流できる体制や研修内容を検討
地域経済に貢献する人材の育成	○マナー講習会や、各種模擬試験の実施等に取り組み、就職・進学内定率 100%達成	○外部講師による講習会や、進路指導等を通じ即戦力となる人材育成に取り組む
地域社会との連携・協働による教育の推進	○学校評価を活用し、学校の運営状況等について改善を進めたほか、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を図るため学校運営協議会を開催	○学校運営協議会からの意見や、学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善を図る
地域とつながる活動の推進	○学校開放講座を実施し、31 名の小学生が参加 ○ボランティア活動の実施	○学校開放講座は、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう内容の充実に取り組む ○ボランティア活動を通じて、生徒が地域社会とのつながりや地域へ果たす役割を学べるよう、主催者等と連携を図る

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

－ ６ 学びを生かす力の育成 －

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H30～R1平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	75.8	74.8	76.1	74.5	78.6	78.4	85.0以上
中学校	79.8	85.2	81.9	84.7	82.4	79.6	85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校における授業の工夫・改善	○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協働的な学びを促進	○一人一台端末をより主体的に活用する授業を通じ、「子ども」が主語となる授業に取り組む
学習活動の支援	○学習教材を教育研究所ホームページへ掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっく一る便」の活用、放課後の学習会開催等により学びの機会を提供 ○不登校児童生徒の学びを保障するため、メタバース空間「ひろびろチョイス」を活用した学習支援の継続、「クラブチョイス」など多様な学び、交流の機会を充実	○一人一台端末で活用できる教材作りを継続するほか、「ぶっくーる便」の計画的な入替により魅力的な図書を提供する ○メタバース空間「ひろびろチョイス」をはじめとするオンラインを活用した学びの保障の充実を進める
教育課程の工夫・改善	○「教育課程編成の手引き」を作成し、行事の方向性等を共有 ○エリアを中心として学力や体力向上等の課題に向けた取り組みを設定する等により、小中連携を推進	○適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するため「教育課程編成の手引き」の見直しに継続して取り組む
学力の分析・検証	○標準学力調査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を各学校に配付し、授業改善の取り組みを推進	○学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析して、指導方法の改善につながる事項を示し、学校に還元する
体験的・問題解決的学習の推進	○児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高める体験学習を実施 ○関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を実施	○図書館や児童会館において、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する

－ ７ 豊かな人間性と創造性の育成 －

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	69.7	76.6	78.3	79.7	84.1	85.7	85.0以上
中学校	71.1	78.7	81.7	83.6	89.2	87.6	85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
道徳教育の充実	○公開研究会等を活用した教職員向け研修の充実により、考え・議論する道徳に向けた授業改善を推進 ○道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを推進	○地域人材やゲストティーチャーの活用を進めるほか、教職員向けの研修の充実により授業改善に継続して取り組む ○他教科との関連性を大切にした教育活動を進める
読書活動の推進	○読書活動への興味関心の向上のため、図書ボランティアによる読み聞かせ等を実施したほか、各種ブックリストの作成、電子書籍の提供を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを実施	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○「語り手育成講習会」等により新規ボランティアの養成を進める
文化芸術活動の推進	○子どもたちの感性や創造力を育むため、各授業等で多様な文化芸術の体験的な学習を進めたほか、ICT を活用した情操教育を実施	○演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供や、より効果的な学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進める
体験活動の推進	○ ICT を活用したオンライン工場見学など、空間的・時間的な工夫を構じた体験活動機会を提供 ○各種社会教育施設と連携し、地域の特色を生かした体験活動で、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供	○ICT を活用する等、空間的・時間的な工夫に継続して取り組むとともに、各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供する

－ ８ 健やかな体の育成 －

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	94.0	92.1	91.7	92.5	92.8	90.9	100.0
中学校	93.6	92.9	91.1	89.1	91.6	91.2	100.0

指標名	１週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H26～H30平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	88.5	86.1	89.6	84.8	86.5	84.9	95.0以上
中学校	85.9	85.9	90.1	81.1	83.4	83.3	90.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
体力・運動能力の向上	○各学校における「体力向上推進プロジェクト」の実施、体育科授業への外部講師招聘により、課題把握や授業改善を推進 ○スポーツ少年団や指導員への支援を実施したほか、スケートの普及を振興	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会や、外部講師による専門的な指導を通じた授業改善を進める ○各団体への支援を通して指導者の育成を図るほか、スケートの普及振興に取り組む
安全・安心な学校給食の提供	○安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供のほか、アレルギーを持つ児童生徒向けに学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づく取り組みを実施	○地場産食材を導入し、栄養バランスを考慮した学校給食を提供するとともに、アレルギー情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む
正しい「食」への理解の推進	○「朝食レシピコンテスト」を実施し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図ったほか、図書館常設の食文化コーナーにて食に関する図書を展示	○おびひろ市民学による食育の指導をはじめ、食育通信等の配付や、食育講演会を開催し、図書館では食育月間に合わせたイベントを開催
健康教育・健康保持	○専門家を招聘し、「命の授業」、「多様性の理解」に関する学習を実施 ○中学校で一人一台端末を活用した「心の健康観察」を導入 ○フッ化物洗口を新たに２校（計４校）で実施	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進める ○フッ化物洗口の実施校拡大

－ ９ 教員の資質・能力の向上 －

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	82.6	84.8	83.8	81.3	81.2	78.2	90.0以上
中学校	74.8	79.4	79.0	78.0	80.9	77.5	80.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教員の指導力の向上	○学校教育指導訪問での、管理職や教職員への指導・助言 ○学力向上推進プロジェクトチームによる協議会や、外部講師を招いた研修の実施、「おび GIGA 支援員」派遣による支援を実施	○学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じ、教員のエビデンスに基づいた授業改善を目指す ○今日的な教育課題やニーズをとらえ、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座の企画に取り組む
教職員の働き方改革の推進	○教職員の勤務状況の改善等に向け、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）」を策定し、各学校と連携した取り組みを実施 ○各校で実施していた就学時健康診断を、一部教育委員会主体で試行、部活動指導員の増員やおび GIGA 支援員の活用など、教職員の負担軽減を推進	○帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）」に基づき ICT を活用した校務の効率化や学校行事の見直し、部活動指導に関わる負担の軽減など、引き続き働き方改革に取り組む

基本施策３ 地域とともに育む教育の推進

－ １０ 地域との連携・協働の推進 －

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R11)
小学校	58.2	47.8	46.3	50.0	70.0	71.0	70.0以上
中学校	35.2	35.1	29.3	31.7	46.0	44.0	50.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域における支援体制の充実	○コミュニティ・スクール通信の発行等により、各校の取り組みや好事例を周知・共有 ○帯広市学校・家庭・地域協働会議における意見交換や地域コーディネーター向けの研修会の実施のほか、こども学校応援基金を活用し団体同士の連携した活動を支援	○地域との熟議や協働に取り組み、学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を進める ○学校と地域が連携した活動や学校運営協議会委員の研修等のほか、ボランティア団体が連携した活動の一層の拡大を図る
子どもの安全対策の充実	○登下校時の見守り活動のほか、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用し、災害や不審者、熱中症等に係る保護者等へ情報提供を迅速化 ○通学路危険個所の点検結果をホームページで公表したほか、子ども１１０番の家を９６１箇所に設置	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める ○危険個所の合同点検を実施するなど通学路の安全確保に取り組むほか、登録者の確保により「子ども１１０番の家」事業の拡充を図る
地域主体の体験活動への支援	○放課後子ども広場事業における、異世代交流や多様な体験活動を通じた豊かな人間性や社会性の涵養	○放課後子ども広場事業を担うボランティア登録者数や参加児童数等が減少していることから、実施方法や PR 活動を工夫し、事業を継続する

－　１１　家庭教育への支援　－

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
小学校	77.8	―	―	82.0	82.6	83.0	85.0以上
中学校	76.6	―	―	82.0	81.3	82.0	85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教育相談の充実	○こころの教育相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもの教育に関する悩みについての相談に対応したほか、相談事例の共有や対応方法の協議を通して、教育相談員の資質向上や相談業務の充実を推進 ○市内全中学校及び義務教育学校後期課程に一人一台端末を活用した「こころの健康観察アプリ」を導入し、メンタルヘルスの変化への早期対応に活用	○教育相談員の資質向上のため、相談員会議等における研修機会を継続的に確保し、相談業務の充実を図る ○各学校における「こころの健康観察アプリ」活用方法を把握し、好事例について情報共有ができる仕組みをつくり、体制の充実を図る
家庭教育力向上のための支援	○学校では、基本的な生活習慣確立に向けて、起床や食事の摂取状況の記録シートを配布し家庭への助言を実施 ○「食育通信」において家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣等を啓発 ○日常的な読書週間確立のため、保護者への啓発活動を推進	○「おびひろ市民学」を中核として消費者教育、人権教育等様々な視点から基本的な生活習慣の確立に向けた啓発を進める ○家庭に向けて「食育通信」の配布や、図書館における絵本セットの充実等の子育て世帯への支援を進める
ＰＴＡとの連携の促進	○各学校のPTA間における情報交換や、補助金交付や事業後援を通じた PTA 活動への支援を実施	○各校PTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続する

－　１２　学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進　－

成果指標の状況							
指標名	小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
小学校	19.2	19.2	32.0	30.8	34.6	26.9	100.0
中学校	21.4	14.3	30.8	15.4	57.1	71.4	100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校間の連携の促進	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校において、学びのつながりを意識した教育課程を編成 ○学力向上、体力向上、生徒指導に関わるエリア共通の取り組みを推進するとともに、各エリアの辞令、成果等をまとめた冊子を作成し情報を共有	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める ○各エリア内における課題解決のため、授業交流や乗り入れ授業の工夫改善を推進するとともに、教育課題の共有や取り組みの共通化を図るなど、学校種間の連携強化と活動内容の見直しを進める
通学区域の見直しの実施	○帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づく取り組みと合わせて、通学区域の見直しについて検討	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進める

基本施策 4　安全・安心な教育環境の整備

－　１３　誰もが安心して学べる教育の推進　－

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
小学校	96.2	96.4	96.8	96.0	96.2	97.9	100.0
中学校	94.2	96.2	96.7	97.6	96.8	95.7	100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
いじめ・非行の防止	○地域の指導協力員と連携し、街頭巡回指導などの非行防止活動を実施 ○いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会による啓発活動を通して、学校・地域が一体となった健全育成を推進 ○いじめの未然防止、就学支援等にきめ細かく取り組み、子どもたちが安心して学べる教育環境を整備	○複雑化・多様化する児童生徒の背景や抱える課題に、より早期に気づき、的確に対応していくため支援体制を強化 ○学校・家庭・地域が一体となり子どもを支えるための継続的な連携や、個別の状況に応じた柔軟な対応を進める
不登校への対応	○子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、ひろびろチョイスをはじめとした多様な学びの場を提供 ○不登校傾向の子どもや保護者対し、段階的な社会的自立に向けた支援の推進	○教育相談員の専門性向上のほか、相談体制の充実、関係機関との連携強化を進める ○社会的自立の支援に向け、「ひろびろチョイス」を活用し、幅広いニーズに対応
教育機会の確保	○経済的理由による就学が困難な児童生徒の保護者へ就学援助費を支給。大学生等への奨学金による支援 ○農村地域の遠距離通学児童生徒向けにスクールバスを運行	○他地域の事例を参考にしながら、就学や通学に関わる経済的な支援を進める ○スクールバス安定運用のため車両更新や運転手確保について検討する
一人ひとりに応じた教育の充実	○特別支援学級の設置やLGBTQ当事者を招いた研修等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備を実施 ○農村地域の小規模特認校制度の運用	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進めるほか、教職員向けの研修により、今日的な課題であるLGBTQ等への理解促進を図る

－　１４　安全で充実した教育環境の整備　－

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H30】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
―	0	1	1	1	1	1	9



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校施設の整備	○中学校のエアコン設置工事、南町中学校の校舎増築棟の建設及び仮設校舎の設置、各学校における各種工事及び個別改修	○計画的かつ継続的な修繕による学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備を進める
学習環境の整備	○学校 ICT ヘルプデスクを活用した一人一台端末などの維持管理 ○アプリケーションを活用し、中学校におけるプログラミング教育の効果的な実施	○児童生徒が主体的に学ぶ力を育成するため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進める ○南商では商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、情報機器の整備・更新を進める
学校適正規模確保の推進	○帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づき、学校の小規模化の影響がより顕著に生ずる可能性のある学校を対象に、近隣校との交流授業等を実施 ○保護者と地域住民への説明及び意見交換会を実施し、後期計画を策定	○児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供を行うほか、学校の小規模化による影響の緩和を図るため、後期計画に基づき地域検討委員会を設置し協議を進める

基本施策 5　自ら学びともに支える生涯学習の推進

－　１５　学習活動の促進　－

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
―	95.5	93.5	90.8	94.0	87.2	95.2	100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学習機会や情報の提供	○市民大学講座の開催や、生涯学習情報誌「まなびや」等を発行 ○図書館では社会教育施設と連携し、街歩き・歴史探索事業を開催 ○百年記念館では調査・研究の成果を活かした博物館講座や郷土学習見学会を開催 ○動物園では SNS を活用した情報発信のほか、飼育体験やおび Zoo 探検隊などの講座等を実施	○市民大学講座の多様な年代が参加出来るようオンライン配信や開催時間の工夫に取り組む ○図書館では他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に厚みのある事業に取り組む ○百年記念館では博物館関係機関・大学等との連携を図りながら効率的・効果的な講座の開催、展示の企画に取り組む ○動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実を図る

－　１６　学習を通じたまちづくり　－

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
―	26.3	25.4	26.2	28.5	28.7	25.6	31.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
自主的な学習活動の支援	○図書館では読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施 ○百年記念館、動物園においてボランティアと連携した企画展や活動機会を提供 ○生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」開催	○ボランティアとの情報交換等により、相互連携を深める ○百年記念館、動物園のボランティア人員の充実に向けた支援を継続する ○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う様々な活動の支援を継続する
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度により、様々な分野において活躍する人物を指導者として登録	○生涯学習指導者登録制度の認知度や利活用頻度を高めるため、市ホームページやＳＮＳを活用して情報発信を強化する

－　１７　社会教育施設の整備・管理運営　－

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R3	R4	R5	R6	R7	（R11）
―	96.5	92.3	91.0	94.1	92.3	90.6	100



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○老朽化が進んでいるとかちプラザ等の社会教育施設の修繕や設備を更新したほか、動物園では、屋内休憩施設「キッズーラウンジ」の整備等を実施し、利用しやすい環境を整備	○コストや利用者への影響を踏まえ、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○各社会教育施設において、講座の開催や出前講座、各種体験等多様な学習機会を提供	○指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組むほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営を進める

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

― １８ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働 ―

成果指標の状況							
指標名	直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	64.7	43.4	51.1	56.1	53.2	53.6	65.0 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
市民文化芸術活動の促進	○日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催したほか、とかちジュニア文芸第１６号を発刊 ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を実施	○市民の発表機会を提供する事業の継続のほか、とかちジュニア文芸文章教室の開催により子どもたちの創作意欲を高め、読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を継続する
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用した文化団体の情報提供 ○文化賞、文化奨励賞及び文化活動功労賞にて２個人の表彰のほか、事業補助による文化団体の活動を支援	○文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報の提供を継続する ○文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う
文化芸術の鑑賞機会の提供	○さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施し、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供 ○道立帯広美術館の特別企画展「サンリオデザイナー展」に参画し、市民に芸術の鑑賞機会を提供	○鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を鑑賞する機会を提供する ○道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続し、市民が身近に芸術・文化に親しむ機会を提供する

― １９ 文化資源の継承・活用 ―

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	2,161	1,638	2,021	1,852	2,377	2,459	2,269 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の管理、及び史跡標示板の内容更新や修繕のほか、動物園園路更新事業に伴い、落合遺跡の発掘調査を実施 ○ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車４号、客車コハ 23 号を公開	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の内容更新や修繕を行う ○文化財の活用事業に継続して取り組み「八千代Ａ遺跡出土品」の適切な保存及び積極的な活用のため、計画的な修理・美装化を実施する
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動の補助のほか、アイヌ文化に関する博物館講座を実施	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動の補助を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承の支援に取り組む
市史資料収集・保存	○令和６年度の出来事をまとめた「年史報告書」の作成、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座や博物館講座などによる収集事業資料の公開	○「年史報告書」作成とともに、令和 14 年度の帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年の周年事業に向けて、関係課と情報・課題を共有し、資料収集事業に取り組む

― ２０ 文化施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【H26～H30 平均】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	83.0	87.6	97.0	97.0	97.0	95.0	88.0 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保及び施設機能の発揮のため、市民文化ホールの真空遮断器を更新	○施設本体や設備、備品などの老朽化が進んでいるため、利用実態や維持管理コスト等を踏まえながら、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営を実施	○市民文化ホール駐車場変更などの影響による施設利用者の利便性低下や、燃料費や光熱水費等の物価高騰による運営経費の増大等が課題。引き続き指定管理者と連携し、利便性の確保及び安定的な管理運営に取り組む

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

― ２１ 多様なスポーツ活動の促進 ―

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（%）						
区分	基準値【H27～R1 平均】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	21.0	17.6	16.5	15.1	14.2	14.0	22.0 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
スポーツの振興	○スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行ったほか、スポーツの普及・振興に貢献した個人・団体を表彰 ○各種全国・全道大会のほか、合宿・プロスポーツ等の誘致や開催支援を通して、市民へスポーツ観戦機会を提供	○競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○スポーツ少年団本部及び帯広市スポーツ協会への支援やスポーツ少年団指導者育成を支援	○各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりを進める
スケート競技の振興	○スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成や地域応援体制を整備 ○明治北海道十勝オーバルの授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進	○スピードスケートをはじめとした各種競技スポーツの普及や、競技者人口の拡大及び競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行う ○ほっとドリームプロジェクト等を通して、スケート競技の普及促進に取り組む

― ２２ スポーツによる活力のあるまちづくり ―

成果指標の状況							
指標名	１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	82.4	90.1	95.9	94.0	94.5	94.7	87.0 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域スポーツの振興	○スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を６０回開催 ○地域住民が自ら企画・運営する８つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援 ○スポーツフェスティバル（２６種目）を開催 ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設開放を実施	○総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催を通じ、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する ○学校施設のスポーツ開放においては、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと、情報発信を行う
スポーツ大会合宿等誘致	○競技団体との連携による各種国際・全国・全道大会の誘致及び開催支援のほか、プロスポーツ等の誘致 ○フードバレーとかちマラソン大会の実地開催	○各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進める

― ２３ スポーツ施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R3	R4	R5	R6	R7	
－	77.3	80.4	93.9	96.8	97.1	96.6	82.0 以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保するとともに、施設の機能を発揮するため、各種改修工事等の施設整備を実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○スポーツ施設では民間活力を生かし、指定管理者制度や PFI による事業方式を導入 ○パークゴルフ場では指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施	○多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度や PFI による事業方式及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む